

この通信はおかざき自然体験の森 市民活動団体、おかもりファミリークラブの紹介等をしています。

発行2024.7月 おかざき自然体験の森

2024年度おかもりファミリークラブ始まりました

2023年に発足したクラブは2年目を迎え、今年度は29名でスタートしました。

第1回のプログラムは「森を歩こう」と「つるでかご編み」でした。

プログラム終了後には、すっかり打ち解けて仲間になった様子が見られました^^

参加者のみなさんからいただいたプログラムの感想をご紹介します！

【森を歩こう ～管理棟からピオトープまで植物を観察しながら歩きました～】

- 自然の見方をまた一つ知れた ○キノコが見られてうれしかった
- イシガメ、ゲンジボタルが見られて驚いた ○ピオトープの奥の場所を初めて知った
- アリジゴクを初めて見た ○カナヘビを一発で捕まえることができた
- 雨のにおいは場所ごとに違った ○実際の植物を見るのができてよかった



【つるでかご編み ～アケビのつるを使ってかご編みをしました～】

- オリジナルのかごを作れて楽しかった！ ○他のつる植物で何か作りたい
- 森を歩いた時にアケビのつるを見て、採取の大変さ、下処理の大切さに気付いた
- アケビのつるを下処理から準備してもらえたおかげで貴重な体験できた



【クラブ全体 ～最後にふりかえりで感じたことをシェアしました～】

- 自然の中だと子どもは時間を忘れて夢中になるので、もっと子どもを連れて来たい
- 自然好きな子が多く、話が合いそう ○話しかけやすい雰囲気だった
- これから自然のものから何か作れるかを考えたい ○登校中に花を観察したい
- もっと生き物、植物を観察したいと思った ○爬虫類の図鑑を家族でシェアしたい



市民活動団体紹介 「西三河自然観察会」

毎月第4日曜日に体験の森で開催している「西三河自然観察会」について
主催の水谷さんにお聞きしました

「西三河自然観察会」は西三河地方の随所で自然に触れる観察会を開催しています。

「おかざき体験の森自然観察会」はその中のひとつで、樹木や草花の植物を重点的に小動物・鳥・昆虫等の生態を観察して生物の多様性を目指しています。

「昨今の身边では開発が進み崩壊しつつある自然環境を今の姿のまま、後世の子供や孫の代々に残して、生物が絶滅するのを少しでも防ぎたい」このような思いに多くの賛同者が増える事を願ひまして、森を見守り、毎月一回の観察会を続けて居ります。



体験の森ウェブサイト
にイベント情報を掲載
しております。
ぜひご覧ください。



この通信はおかもりファミリークラブ、おかざき自然体験の森 市民活動団体の紹介等をしています。

発行2024.9月 おかざき自然体験の森

2024年度第2回おかもりファミリークラブ開催しました

2024年度第2回のプログラムは「生きものスポット巡り」でした。
猛暑日となりましたが、木陰や小川では暑さをしのぐことができ、たくさんの生き物にも出合えました。
今回も参加者のみなさんから感想をいただきましたのでご紹介します^^

【生きものスポット巡り】～管理棟からピオトープまで生きものを探して歩き、 小川で水辺の生き物を捕まえました～

- トカゲとカナヘビの違いを触って知ることができたので、家で飼っているカナヘビを改めて観察しようと思う。
- カマキリの外来種と在来種の見分け方がわかった。
- 初めてカマキリの抜け殻を見た。
- 小川でいろいろな貝を見つけた。カワニナも見つかった。



- ウルシの特徴がわかったので、これから見つけたら気をつけたい。
- クスノキの葉のにおいを知った。昔は防虫剤に使っていたということなので、机に入れてみようと思う。
- みんなで一緒に歩くと一人では見つけられないものを発見できて楽しい。
- 外来種と在来種に触れ、人間と自然の共生について考えていきたい。

自由交流は
「葉っぱポート
レース」!



おかもりソング
が完成し、披露
しました。

市民活動団体紹介 「たけのこ」

毎月第2.4月曜日に体験の森で開催している「竹細工体験」について
主催の「たけのこ」津田さんにお聞きしました

おかざき自然体験の森『竹細工』教室は竹細工に興味のある方を対象にした
体験プログラムです。

教室では参加者の自主性を尊重するために決められたカリキュラムはありません。
参加者が自分で何を作るかを考え、準備された材料(竹の素材)を必要な長さに切り、作る物に合わせた
幅に割り、ヒゴを作り、編んでいく、できたものは自分のものとして持ち帰ってもらいます。

教室では、材料、道具、参考となる資料の提供とヒゴの作り方、編み方などの指導・相談を行っています。



体験の森ウェブサイト
に
施設紹介、各種イベント案内や開催した様子等を
掲載しております



この通信はおかもりファミリークラブ、おかざき自然体験の森 市民活動団体の紹介等をしています。

発行2024.12月 おかざき自然体験の森

2024年度 第3回おかもりファミリークラブ開催しました

2024年度第3回のテーマは「森とふれあおう」。のこぎり体験と腐葉土作りでした。
今回も参加者のみなさんからいただいた感想をご紹介します^^

～伐採した木をのこぎりで切る体験と腐葉土作りのために落ち葉・枯れ枝集めをしました～

【のこぎり体験】

○木が切ったばかりの生木だったので、切りにくかった ○木の2つの種類で切りやすさが違った ○最後まで切れて嬉しかった

【腐葉土作り】

○腐葉土作りは思ったよりも簡単で驚いた ○腐葉土ができるのに約1年もかかることを知った ○集めたものが三分の一になってしまうことを知った ○クワガタのために買っていた腐葉土を自分で作ってみてもよいと思った



【今回の活動を通じて感じたこと】

○人が手を加えることがよい自然を維持することだと知った
○前回と比べて生きものが減ってた ○山について知っているようで知らないことがたくさんあって、知ることの大切さを知った ○昔の人は自然の恵みを活用して生活していたと思うとすごい



自由交流は
「森のモルック」!



市民活動団体紹介 「わらじ会」～竹ぼうき作り～

毎月第3木曜日に体験の森で開催している「わらじ会」の竹ぼうき作りについてご紹介します

体験の森では竹林整備をした竹を使って、竹ぼうき作り体験を行っています。
昔の里山のくらしの一部として、自然の素材を使った道具づくりを通して、自然のありがたさを感じていただきたいと思います。
竹ぼうきを作った後はみんなで竹ぼうきをまたいで飛んで帰りますよ^^



体験の森
ウェブサイトも
ご覧ください!



この通信はおかもりファミリークラブ、おかざき自然体験の森 市民活動団体の紹介等をしています。

発行2025.4月 おかざき自然体験の森

2024年度おかもりファミリークラブ全4回終了しました！

2024年度最終回のテーマは「木とふれあおう」。薪割り体験と森のクッキングを行いました。今年度全4回が無事終了しました。メンバーのみなさんありがとうございました！参加者のみなさんからいただいた感想をご紹介します^^

【薪割り体験】場内で伐採したスギとヒノキの木を薪割り機で薪にしました！

- 割れたばかりの木からいいにおいがした ○スギとヒノキの硬さが違った
- 大変な作業もみんなでやったらスイカ割りみたいに楽しかった
- 斧でやる方法と違うやり方を知られてよかった



【森のクッキング】体験の森で収穫したさつま芋を焼き芋にしました！

- 石の上で焼き芋をやったのは初めてだった ○焼き芋で使った石が温かくなって、それで手を温めることができた ○すごくお芋がおいしくて、自分の家でも作りたいと思った ○思ったよりも早く焼き芋ができてびっくりした

【全4回の活動を通じて】

- いろいろな自然に触れて、自分では気づかないところを仲間で共有しあえた
- 子どもが自由にのびのび活動できてよかった
- 普段できないことが体験でき、心が豊かになった
- 学校以外の友達ができた ○毎回来ることが楽しみだった
- 親子で自然の中で過ごすことができ、日々の生活の中に癒しができた
- 子どもがクラブで知ったことを他の人に教えてあげる姿を見られるようになった
- 生きものや自然好きな仲間と出会えて、一緒に活動できて楽しかった
- 親子共々自然への関心が増した ○子どもが自主的にお手伝いするようになった
- 子どもへの接し方を見つめなおすきっかけになった
- いろいろな考えや視点を知ることができた



市民活動団体紹介 「わらじ会」～わらぞうり作り～

毎月第2木曜日に開催している「わらじ会」のわらぞうり作りについてご紹介です

「昔ながらの農業体験」で手刈りしているもち米のわらを使ってわらぞうりを作っています。子ども頃にわらぞうりを履いていたという、矢作町大正生まれの男性から伝承しているやり方です。

家康行列に参加してわらじを履いた人が自分でも作ってみたいということで、わらじ作りにも挑戦しています。地域によりいろいろな作り方がありそうですが、自分なりの工夫をしながら楽しんでやっています。

これからもものづくりが好きな人と一緒に楽しんでいきたいと思っています。
(文:「わらじ会」永田博子さん)



体験の森
ウェブサイト
はこちら

